

事業所名

ハッピールームくるみ 児童発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		ふるさとと生きる				
支援方針		一人ひとりに寄り添う。自分らしく楽しく。生きる力へつなげる。				
営業時間		9 時	30 分から	13 時	0 分まで	
		送迎実施の有無		あり	なし	
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得ができるように支援する 挨拶や、手洗い、衣服の着脱等、日常生活に必要な動作を身につけ身辺自立が促せるように、個々の能力に合わせた支援を行う。 利用時は、検温を行うとともに、利用中に体調の変化がある場合は、適切な対処をする。また、身体変化には十分に注意し、怪我等には適切に対応できるようにする。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢の保持や運動機能の向上、感覚機能の活用をしながら、身体機能を高めるための支援を行う。 歩く、走る、跳ぶ、くぐる、引っ張る、押す、登る等様々な体の使い方ができるように全身を使った粗大運動や日常生活に必要な手指を使う微細運動等、保有する様々な感覚を活用した支援を行う。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達や行動の習得、空間、時間、数等の概念の形成のための支援、五感を活用し色々な名称の理解や環境への適切な認知・行動の習得のための支援を行う。 制作活動や、感触遊び、簡単なルールのあるゲームや運動を通して理解を深め、概念や記憶力、思考力を養い、その対象となるものについての適切な行動ができるように支援を行う。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成や活用、物の名称と言葉の一致のための支援（絵カードや文字カード、数字カード等を使用）、相手とのコミュニケーションをとるためにその手段を獲得するために支援を行う。 自分の思いを相手に伝えるための環境作りや伝達手段を獲得するための支援を行う。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 家族以外の他者との関係づくり、小集団での活動、自己の理解と行動の調整ができるように支援する。 他者との関係作り、集団における役割、ルールのある遊び、支援者や友達のまねっこ遊び、ごっこ遊び、ふれあい遊び、外出の機会等を設け自分からしてみようとする気持ちが育つように支援を行い、社会性の発達を促す。また気持ちや情緒のコントロール、他者との適切な関わり方の支援を行う。 				
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する情報の提供と、支援の定期的な調整。 相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整。 子育ての相談やそれに必要な支援。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行を想定し、一人一人の子どもの特性を理解したうえで、環境を調整する。 同年代の子どもと共に成長できるよう、仲間作りについて支援をする。 関係機関との連携。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関わる関係機関との連携を図り、地域支援のための会議への参加や個別のケース会議等への参加をする。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修の開催や、日々の支援に活かせるスキルの向上に努める。
主な行事等						

事業所名

ハッピールームくるみ 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		ふるさとと生きる				
支援方針		一人ひとりに寄り添う。自分らしく楽しく。生きる力へつなげる。				
営業時間		14 時	0 分から	17 時	0 分まで	
		送迎実施の有無		あり	なし	
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握し、自らが健康な身体と心を育て安全な生活を作り出すことを支援し、利用中に体調等に変化がある場合は適切な対処をする。身体的な変化にも注意し、怪我等には適切に対応できるようにする。 生活のリズムを作れるように支援する。身の回りを清潔にし、生活に必要なスキルを獲得できるように支援する。 生活の中で、様々な遊びを通し、学習できるように支援する。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びを取り入れながら、日常生活に必要な基本動作の習得、また感覚の特性を持った児童にはそれに対応した環境の調整及び提案・支援を行う。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の感覚を十分に活用し、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促すための支援を行う。 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を図るために、必要な支援を行う。 認知や行動の特性を踏まえたうえで、特性に応じた環境の調整やコミュニケーションの困難さによる行動障がいに対し適切な行動ができるように支援する。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもを適切に評価し、具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等、様々な言語の習得に繋げていけるよう支援する。 一人ひとりの特性に合わせた、様々なコミュニケーションの手段（各種文字や記号、絵カード等）を適切に活用しながら、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。 障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を築くとともに、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 集団の中で様々なルールや手順があることを理解できるように支援し、子ども自らが集団活動に参加できるようにする。 				
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する情報の提供と、支援の定期的な調整。 相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整。 子育ての相談やそれに必要な支援。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行を想定し、一人一人の子どもを特性を理解したうえで、環境を調整する。 関係機関との連携
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関わる関係機関との連携を図り、地域支援のための会議への参加や個別のケース会議等への参加をする。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修の開催や、日々の支援に活かせるスキルの向上に努める。
主な行事等						